



いざ、婦人会創立 110 周年へ



5月1日から始まった「創立110周年婦人会員決起の集い」は、国内外377会場で開催される。期間は9月16日までで、7月20日には大教会を会場に決起の集いが開催された。

天理教婦人会は来年、

7月20日、大教会を会場に「会員決起の集い」開催

陽気ぐらし世界を目指して――

婦人会創立110周年を来年に控えて、現在、国内、海外の各地で「創立110周年会員決起の集い」が開催されている。婦人会員一人ひとりが自覚を持って活動方針を実行し、実のようばくに育つことを目指す。7月20日には、大教会を会場にして開催され、多くの婦人会員が実動を誓った。

5月1日から始まった「創立110周年婦人会員決起の集い」は、国内外377会場で開催される。期間は9月16日までで、7月20日には大教会を会場に決起の集いが開催された。

天理教婦人会は来年、

7月20日に大教会で開催された決起の集いの本部講師は中野支部長・深谷英美先生。集まった大勢の婦人会員たちは、婦人会創立110周年と、提唱されている百万会員の実現に向けて、にをいがけ・おたすけに励む決意を新たにし、心一つに実動を誓い合った。

婦人会本部では他にも「天理教婦人会創立110周年記念別席強調期間」が設けられている。まず今年10月20日から11月30日まで、来年は3月20日から5月10日と10月20日から11月30日までの、3回が予定されている。また若い道の台を対象として、今年11月3日、本部中庭を会場に「第29回女子青年大会」も開催される。婦人会員には、こうした行事も積極的に活用しながら、陽気ぐらし世界を目指して、世界たすけの一翼を担う実のようばくへと育つ努力が求められている。



発行
天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
FAX (052) 461-4320
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378

編集責任 広報部

立教 182 年 活動目標

「恩報じの実行」

- 初参拝の推進と新ようばくの丹精
- 報恩感謝のおつくしの徹底
- 若者にご恩報じの心を伝えよう

◎一名称が本年まで三人の修養科生を守護頂う
◎報恩感謝別席強調の実施(11月24日)

8月のこよみ	
入社祭	1日 午前10時
祭典終了後、教会長連絡会	
よふき会例会	2日 午前10時
月次祭	13日 午前10時
布教実修所	14日 午前9時30分
むつみ会例会	16日 午前10時
青年会例会	18日 午前10時
女子青年例会	18日 午前10時
こはる会例会	18日 午前10時
学生会例会	18日 午前10時
婦人会例会	20日 午前10時
本愛ようばく錬成会	24日 午前10時30分
雅楽勉強会	(於・本愛話所)
本部月次祭	25日 午前9時
	26日 午前9時

真夏のおぢばにきらめく子供たちの笑顔

立教182年こどもおぢばがえりが開幕

「ありがとう！ よろこびつなごう おやさとへ」。真夏の子供たちの祭典「立教182年こどもおぢばがえり」が7月26日に開幕した。8月4日までの10日間、おぢばは大勢の子供たちの笑顔と歓声に包まれる。また、開幕に先立ち、詰所では、帰参した子供たちに喜んでもらおうと、受け入れの準備ひのきしんが行われた。



本年のこどもおぢばがえりは「ありがとう！ よろこびつなごう おやさとへ」をテーマに開幕。今年も国内はもとより、海外からも大勢の子供たちが親里に帰り集っている。真夏の太陽が照り付ける中、親里にはさまざまなおたのしみ行事や、しこみふせこみ行事に参加する子供たちの元気な姿があふれている。

詰所には昨年からデザインが一新されたピッキー・リボンの垂れ幕が設置され、子供たちを迎え入れる。また、恒例の模擬店も連日開催され、焼き鳥やかき氷などの飲食コーナーとゲームコーナーが設置され、子供たちだけでなく育成会員らにも好評を博している。

「ひのきしん隊」に本愛分会が入隊

心一つ意気軒昂と、ぢばに伏せ込む

本愛分会では、7月1日から17日までの期間、「おやさとふしん青年会ひのきしん隊第868回隊」に6名が入隊した。隊期中は梅雨の影響から雨天が多く、快晴が一日続く日はほとんどなかったが、不思議と出勤中には雨が降ることはなく、隊員たちは御守護を感じながら、尊い伏せ込みの汗を流した。

ひのきしん内容は、「こどもおぢばがえり」の準備ひのきしんが主で、おやさとパレードで使用するフロートの手入れや、各行事会場での設営、蛇谷山の木出しなど、いずれのひのきしんも一つ一つに精力的に取り組んだ。



隊員たちは親里での貴重な伏せ込みの期間を一手一つに過ごした

受け入れ準備ひのきしん

こどもおぢばがえり開幕に先立ち、本愛詰所では6月25日からこどもおぢばがえりの垂れ幕が設置され、7月25日には少年会本愛団のスタッフが、模擬店会場の設営や館内の装飾など、帰参する子供たちに喜んでもらえるよう、一手一つに準備ひのきしんに励んだ。

鼓笛隊も本番に向け合宿

本愛鼓笛バンドは7月13日から15日までの3日間、こどもおぢばがえりの鼓笛行事出演に向けておぢばで合宿を行った。今年は例年に比べて涼しい日が続き、詰所での練習も充実したもとなった。

とめまなび、にをいがけなどをを行い、充実した生活を送った。

なお、5日から7日までの三日隊には4名が入隊した。

レポート

自然の恵みに感謝して

ほんあい Kids キャンプ開催

少年会本愛団では6月29、30日の1泊2日の日程で「ほんあい Kids キャンプ」を開催し、少年会員58人を含む86人が参加した。

梅雨の時期と重なり、事前の天気予報では2日間とも雨予報だったが、多少プログラムを変更して、2日間とも予定していたプログ



ラムでキャンプを行うことができた。

今年のお場は奈良県宇陀郡にある「国立曽爾青少年自然の家」で行われた。

1日目、大教会に集まった子供たちは受付を済ますと神殿2階へ。初めて顔を合わせる相手に戸惑いながらも、班毎に整列し、全員で開会のおつとめを勤めた。

いよいよ大教会を出発。3台のマイクロバスに乗り込むと、一同は会場である曾爾高原へと出発した。同高原へは名古屋から約3時間。高原の風景を眺めながら、バスの中でのレクリエーションを楽しんだ。「自然の家」に到着後、まずは昼食。施設

のすぐそばには、草原が広がる大自然の中で、爽やかな風に包まれながら持参した弁当を食べた。

その後、敷地内にあるアスレチックで元気に遊びながら、班員同士の親睦を深めていった。

そして、夕食の後、お楽しみのキャンプファイヤーの時間であったが、今回はあいにくの雨の為、体育館を利用してキャンプドールファイヤーを行った。各班、趣

向を凝らした出し物を披露。スタッフのゲームも行



本格的なアスレチックに子供たちも大興奮



→ファイヤーで各班の出し物で盛り上がった



←班員同士が協力をして問題を解くフォトトレーニング

→飯盒炊さんでは、それぞれ手分けをしてカレー作りをしました

われ、みんなで盛り上がる事ができた。

2日目は施設内の食堂で朝食を食べ、フォトテオリングに出発。これは、写真と地図を見比べながら決められた場所を探して問題を解くゲーム。班員全員が地図にらめっこしながら、楽しんでゲームを進めていった。

この日の昼食は自分たちでカレー作りに取り組んだ。慣れない手つきで野菜

を切ったり、お米を研いで飯盒でご飯を炊いたり、

日常とは違う環境の中、楽しんで調理していた。自分たちで作ったカレーを頬張り、そのおいしさに満面の笑みを浮かべていた。

子供たちは普段の生活では味わえない大自然の中で、仲間と助け合うことの大切さを学び、当たり前過ぎて感じることができた2日間だった。

教理随想

言わん言えんの理を探る



日本の古い道歌にこんな歌があります。

「欲深き人の心と降る雪は／積もるに連れて道を忘るる」。

人は誰しも欲の心を持つています。しかしそれが程度を超すと様々なトラブル

の原因となり、人としての道も忘れてしまう。それを戒めた歌であります。

「よく」の心は陽気ぐらしから逸脱してしまうため、教祖は七番目のほこりの心使いとして次のお示しくださいました。

人よりも多く身に付けたい、何が何でも取れるだけ

取りたい、また一獲千金や不当な儲けを得ようとする心。人の目を盗んで数量をごまかし、人を欺いて利をかすめ、人の物を盗み、取り込み、何によらず人の物をただ我が身に付けるのは強欲、また色情に溺れるのは色情であります。

同じほこりの心使いで二番目の「ほしい」との違いを強調するためか、少し

の違ひは「ほしい」が感情的であるのに対し「よく」はより意志的で、金品や色情への強欲を指摘されている点であります。

たとえば貧しい境遇にある人は、せめて人並みになりたくて切実に願うことでしょうか。しかし人並みと見

える人が、その状況に満足していることは少ないようです。また持てる人は持てる人で、一層競い合う傾向にありますから、欲の心は止まるところを知りません。まさに「欲に切りない泥水」

です。そうならないために、まずは心使いの基本を親神様のご守護を喜んで感謝するところに置くことが肝心でしょう。

人間は何かを分けようという時、少しでも多く良い物を取りたいと思いがちです。しかしこれは冷静に見ると実に厚かましくて浅ましい心根に映ります。遺産

の配分などでは、まかり間違うと骨肉の争いとなります。また品物を買叩く、あるいは弱みにつけ込んで

高く売りつけるといったことも、違法かどうかには関係なく、天の理に適わない心と行為であると言わざるを得ません。不正をしてまで儲けようというのは論外ですが、「濡れ手に粟」の暴利を目論むのは強欲であります。

形ある物だけでなく

かつて、自社の利益のために非加熱製剤を安全と称して販売した製薬会社がありました。そのまじか

なくとも似た話はあちこちにありそうです。何か人に説明をする時、自分に不利な材料を隠したり、加減を

して話すという傾向はないでしょうか。あるいは有利に話を進めるために、都合のいい事柄だけを話したり誇張したりということもありがちなことです。

ある時、何かのアンケートで、お金を拾った時に警察へ届け出る人が意外に少

ないことが報じられていました。拾ったものをそのままネコババするのは、人の物を我が身に付ける違法な行為で、天の理に適わない心であるのはいまでもありませんが、それは形ある物ばかりとは限りません。人のお世話になった、親切を受けた。そのことに対する感謝と報恩を忘れては、「ただ我が身に付ける行為」と同様でほこりになるのではないのでしょうか。

さらにもっと広く考えれば、この身体を貸し与えられている親神様のご恩を、思わず、我が物で当然のこととして勝手気ままな通り方をしていく姿こそ、ほこりの本元といえるかもしれません。

教祖の教えを絶対的な判断基準として、「よく」のほこりを積み重ねようという心が、天の理に合う報恩の道を日々歩み続けたいもの

あります。

あります。

【第56回】

強欲は天の理に適わぬ心、
教えを基準に報恩の日々を

子供たちの夢を叶える場を

ほんあいOKEIKO 今後も活発に

地域の子供たちへの学習支援活動「ほんあいOKEIKO」がスタートして2カ月余りが経過した。徐々に参加者も増えており、今後の展開が期待されている。

これは、習い事やお稽古事を安価で提供することで、子供たちの可能性を広げる学習支援活動として、

今年5月からスタートしたもの。本愛大教会こども食堂運営委員会が実施しており、現在は、書道、ピアノ、ダンスの3クラスを設置。書道とピアノは5歳から小学6年生まで、ダンスは中学2年生までが対象となっている。

これまでに延べ十数人が参加。教会子弟の参加も可能を訪れた。当日は、こども食堂の活動の様子を見学。スタッフと一緒に、地域の子供たちと楽しく食卓を共にした。

ほんあいこども食堂を見学

蒲生分会が来会

5月17日に行われた「ほんあいこども食堂MOGU」に、蒲生大教会の青年会員10人が見学に訪れた。

蒲生分会では、各地の教会活動を見学する「勇んだ教会研修」を行っており、その第一弾として本愛大教

会を訪れた。当日は、こども食堂の活動の様子を見学。スタッフと一緒に、地域の子供たちと楽しく食卓を共にした。

蒲生分会委員長は「食事を作っておられる先生が、活動に生きがいを感じていると話しておられたのが印象的だった。蒲生でも地域活動を押し進めたい」と話した。

能で、中には毎月参加している子も。

活動の発起

人でもある安藤吉人・本愛分会委員長は「お道の教会が、子供たちの夢を叶える場所になれば、との思いでスタートした。子供たちに世界で活躍できるような徳分を身につけてもらえる活動にした」と話している。

ほんあい OKEIKO はじめました

いろんなことに一緒に挑戦してみよう!

ご質問されている にも重要MOGU! 既、お先に参加しました。おままだらOKEIKO(お道) 講座をオンラインで無料体験に参加いたします。お道の体験は無料です。保護者の方と一緒に参加してください。

各クラスのご案内

会場 天理教本愛大教会 名古屋市中村区大塚1-60

対年齢 各クラスにより異なります

参加費 300円(2回目以降)

初回見学 無料!

普通クラス 5歳~小学6年 講師: 太田華水

ピアノクラス 5歳~小学6年 講師: 水野理歩

ダンスクラス 5歳~小学2年 講師: 児玉一也

青年会・女子青年・学生会が 8月18日に合同例会を開催

「道の後継者の集い」に向けて心一つに

8月18日、青年会、女子青年・学生会は、合同で例会を開催する。

当日は、三重県内で川遊びを行うほか、バーベ

キューも予定している。9月22日に開催される「道の

次回は8月28日午後5時30分から7時30分まで。初回の見学は無料。2回目以降、1回300円。事前申し込み不要。

後継者の集い」に向けて、親睦を深める場とする。現在、各会を通して参加を呼び掛けている。

当日は、午前10時大教会集合。参加御供500円。着替えを持参のこと。

ハーftime

今月6日から始まる夏の甲子園。令和初代優勝校を目標して熱戦が繰り広げられる。そんな甲子園でお馴染みの光景となっているのが「丸刈り」の球児たちだ。その「高校球児丸刈り」という常識が変わりつつある▼まだ少数派ではあるが、強豪校が選手への丸刈りの強制をやめたり、チーム内で髪型を話し合っ

て決めるケースが増えているという。常に主体的に考えて行動し、創意工夫する力を選手たちに身に付けさせることが目的だ▼「自由」の裏には「責任」がある。そんなシビアな緊張感の中で「考えられるプレーヤー」となり、さらなる高みに上って行けるのだろうか。自分も常識という枠の中で創意工夫を忘れ、思考停止していないか。高校球児たちから学ぶことは多い。

講社結成

6月15日

越谷講社(本愛南所屬)

埼玉県越谷市赤山町

317818

講社長 武藤 靖民

本愛慶心

陳 孝青

以上8名

6月のおさげの理拝戴者

本 築(本東海) 伊藤 真一

本 知(本正徳) 水野たまえ

本愛慶心 陳 孝青

以上3名

5月の中席者数

(6月20日提出分まで)

本 心 1 本美郷 1

以上2名

6月の中席者数

(7月20日提出分まで)

本 煥 1 本道橋 3

本 心 1 本美郷 1

以上6名

6月の初席者

本 宏(本宏津) 平野 益雄

本 心() 原田かず子

本 心() 富田 優人

本 心() 桑原 侑里

本 心() 後藤あき江

本 定(本孝心) 太田 藤雄

本築分教会二代会長夫人

佐藤弘子之霊の三十年祭

本築分教会では6月29日

午前10時30分より、二代会

長夫人・佐藤弘子之霊の

三十年祭が、大教会長を祭

主として同分教会で行われ

た。

本道橋 木村 仁

本清明(本茨城) 鈴木 玲奈

本西部 平野紗和子

本愛濃 加藤 菜月

本愛慶心 楊 順利

楊 洛芹

劉 月萍

以上13名

若いお父さん・お母さんへ

家族ぐるみで 教会へ 参拝しましょう

婦人会・青年会・少年会からの提唱

大教会日誌

令和元年6月25日～令和元年7月24日

6月

25日 修養科志願者面接(於・本愛詰所) 常任役員会議

26日 本部月次祭

29日 ほんあいKids キャンプ(30日まで)

30日 役員会議 青年会例会

7月

1日 入社祭 祭主・大教会長夫人 扨者・田中新一、加藤成幸 指図方・板山公司 賛者・出口邦郎、久保眞樹

◇おたすけ講話一板山眞一

◇教会長連絡会

2日 よふき会例会 おつとめ・十二下りてをどり、連絡会

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・安藤正二郎、中島功雄 指図方・出口道男 賛者・安井 篤、大池美公雄

◇縦の伝道講習会 講師一少年会本部委員長・飯降 力先生

◇大教会長挨拶

14日 布教実修所

17日 こども食堂MOGU(参加者43人)

20日 婦人会創立110周年 会員決起の集い

講師一中野支部長・深谷英美先生

青年会例会

女子青年例会

むつみ会例会

こはる会例会

22日 雅楽勉強会

23日 おはなし会

24日 本愛ようぼく錬成会

ほんあいOKEIKO